

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

14999

農業施設維持事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	2	農地の保全と生産基盤の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	耕地課	角田 憲彦 435-1051
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	農業従事者が生産に専念できるよう環境整備を行うことを目的とする。		農業施設の維持修繕及び管理に努め、農業基盤の確立を図ることで、農業生産の継続性を推し進める。			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		<ul style="list-style-type: none"> 農道、水路、ため池等の農業施設の維持修繕及び管理 樋門、排水機場の管理及び維持経費 地域の農業関係者に対する補助及び支援 農業施設に係る財産管理 	<ul style="list-style-type: none"> 農道、水路、ため池等の農業施設の維持修繕及び管理 樋門、排水機場の管理及び維持経費 地域の農業関係者に対する補助及び支援 農業施設に係る財産管理 	<ul style="list-style-type: none"> 農道、水路、ため池等の農業施設の維持修繕及び管理 樋門、排水機場の管理及び維持経費 地域の農業関係者に対する補助及び支援 農業施設に係る財産管理 	<ul style="list-style-type: none"> 農道、水路、ため池等の農業施設の維持修繕及び管理 樋門、排水機場の管理及び維持経費 地域の農業関係者に対する補助及び支援 農業施設に係る財産管理 ため池浸水想定区域図作成 	<ul style="list-style-type: none"> 農道、水路、ため池等の農業施設の維持修繕及び管理 樋門、排水機場の管理及び維持経費 地域の農業関係者に対する補助及び支援 農業施設に係る財産管理

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	111,711	118,980	110,320	108,058	85,967	84,318	97,985	0	97,985	0	
伸び率(%)	11%	23.5%	△1.2%	△9.2%	△22.1%	△22%	14%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	33,420	36,291	36,284	33,647	34,955	37,774	32,539	0	32,539	
	正規職員以外	1,876	1,201	8,853	4,074	1,329	781	980	0	980	
	小計	35,296	37,492	45,137	37,721	36,284	38,555	33,519	0	33,519	
国庫支出金	17,247	14,107	19,400	18,416	0	0	0	0	0	0	
県支出金	900	407	853	745	851	751	7,850	0	7,850	0	
市債	3,800	4,200	0	0	1,800	500	0	0	0	0	
その他	1,573	1,593	1,583	1,614	1,593	1,970	1,773	0	1,773	0	
一般財源(税等)	88,191	98,673	88,484	87,283	81,723	81,097	88,362	0	88,362	0	
所要人数(人)	正規職員	4.19	4.55	4.54	4.21	4.34	4.69	4.04	0.00	4.04	0.00
	正規職員以外	0.91	0.76	1.92	0.91	0.42	0.38	0.29	0.00	0.29	0.00
主な予算内訳	所々修繕料:29,000千円、調整区域土砂運搬委託料:7,621千円、農業施設維持修繕等委託料:6,611千円、国営造成施設管理体制整備促進事業負担金:5,806千円、水路等浚渫委託料:5,000千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
修繕要望件数		件	目標値					
			実績値	88	95	86		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
修繕実施件数		件	目標値	72	68	67	79	79
			実績値	73	79	71		
			達成度(%)	101.4%	116.2%	106.0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	生活関連事業であり、方向性については現状維持で行うことが望ましく、また既存の農業用施設が老朽化する中では、コスト投入についても現状維持で生活基盤を維持していくことが望ましいと考えております。
見直し・改善内容	既存の農業用施設については、老朽化が進む中で、農村地域の市街化も進んでいる現状であり、農道には周辺住民の主要交通道路として、また、水路は生活雑排水の放流先として利用されています。そういった現状を踏まえると、修繕要望がより増加する傾向にあります。そのため、施設の修繕については、中・長期的計画を立て、費用対効果などを勘案しつつ事業の実施に努めるとともに、予算の配分についても必要な箇所への重点的な配分をすることで、住民のニーズに対応していきます。